



岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年10月27日(金) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
岐阜県美術館	学芸係 教育普及係	齋藤 智愛 後藤 正行	直通 058-271-1314 FAX 058-271-1315

「走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代」を開催します

岐阜県美術館ではこのたび、「走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代」を開催します。

やきものの立体造形を模索した陶芸の前衛運動 ^{やぎかずお やまだひかる すずきおさむ}八木一夫や山田光、鈴木治らによる「走泥社」、^{はやしやすお}林康夫らの「^{しこうかい}四耕会」に同時代のイサム・ノグチ、ピカソや関係作家の作品を加え、走泥社と前衛を再考します。

- 1 会期 令和5年12月19日(火)～令和6年2月18日(日)
10:00～18:00
1月19日(金)、2月16日(金)は、20:00まで夜間開館
※展示室の入場は、閉館の30分前まで
※休館日：毎週月曜日(祝・休日の場合は翌平日)

- 2 場所 岐阜県美術館 展示室3 (岐阜市宇佐4-1-22)

- 3 観覧料 一般：1,000円(900円)
大学生：800円(700円)
高校生以下無料、()内は20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方とその付き添いの方(1名まで)は無料



八木一夫《ザムザ氏の散歩》1954年
京都国立近代美術館蔵

■ 本展覧会について

1948年に結成され、解散するまで50年にわたり日本の陶芸界を牽引した走泥社。本展は、走泥社結成から25周年となる1973年までを主な対象とし、同時期に前衛陶芸運動を展開した四耕会など走泥社以外の作家等も一部交え、前衛陶芸が生まれた時代を振り返る。いわゆる「オブジェ焼」を発表した戦後から1964年の現代国際陶芸展に代表される作家の動向まで、四半世紀の中でおきた日本の陶芸界における前衛の出現、変化、相対化など、戦後の陶芸表現の意義や意味を再考する。

■ 関連プログラム

◆ナンヤローネ アートツアー

日時：令和6年1月21日(日) 14:00-15:30
会場：岐阜県美術館 多目的ホール、展示室
備考：要観覧券 申込み方法などの詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

◆講演会

日時：令和6年1月27日(土) 13:30-15:00
会場：岐阜県美術館 講堂
講師：大長智広(京都国立近代美術館 主任研究員・本展企画者)
備考：聴講無料、事前申込み不要、定員170名(先着順)

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22
TEL 058-271-1314(学芸部) FAX 058-271-1315

URL: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

美術館の情報を
発信しています



県美術館
Webサイト



公式Facebook



公式Instagram



公式X(旧Twitter)